

平成二十八年 第九期くまもと俳句ポスト

第九期開函

日本伝統俳句協会理事 岩岡 中正 選

特選

初桜漱石居まで橋二つ

福岡県北九州市

桜井周子

【講評】

熊本城から漱石旧居までの散策だろうか。初桜に誘われるように軽やかに歩く作者。「初桜」と「橋二つ」のとりあわせがごく自然で明るい。春風が吹き川面も見える、ふとした旅心の一句である。

わが輩通り賞

清正の槍のかちどき風光る

熊本県熊本市

野崎一雄

入選

ふるさとの風薫るわが輩通り
春雷や暗がり抜けて天守閣
人は会ひ人は別れて花は葉に

熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県合志市

水本麻美
木村初子
坂田美代子

佳作

寒行の法蓮華経本妙寺
八雲邸障子の先の肥後椿
桜咲く熊本城の武将隊
ちよん掛け独楽天守飛び越え春の空
城中は風の遊び場藪椿
ゆるゆると磴をめぐりぬ城の春
鶯や旧居に筆子の小さき声
すごいとことんねるぬけててんしゆかく
いにしえを踏みしめながらコートぬぐ
天空を分けてまぶしく山笑う

熊本県熊本市
東京都千代田区
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
兵庫県たつの市
長崎県諫早市
熊本県水俣市
埼玉県和光市
熊本県熊本市

菊池一郎
市村友一
青砥典子
林田秀久
鶴田信吾
蓮井里子
麻生勝行
森みさ子
竹内恵子
井手洋子

投句総数

七六五句

市外

五三八句

市内

二二七句

開函日 平成二十八年六月三十日